★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2013年12月18日～2023年12月15日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドの受益証券を通じて、相対的に配当利回りの高いスイス株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドでは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10% 以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第47期（決算日　2018年１月17日）
第48期（決算日　2018年２月19日）
第49期（決算日　2018年３月19日）
第50期（決算日　2018年４月17日）
第51期（決算日　2018年５月17日）
第52期（決算日　2018年６月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）」は、このたび、第52期の決算を行ないました。

ここに、第47期～第52期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
http://www.daiwa-am.co.jp/

<5638>

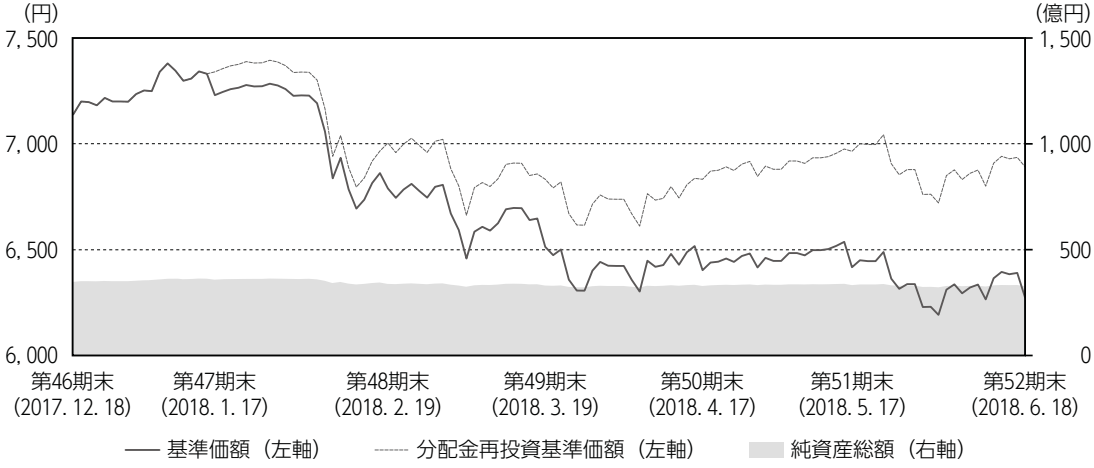
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			スイスSMI指数（円換算）		スイス・フラン為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
23期末（2016年1月18日）	7,554	110	△ 8.1	10,408	△ 10.7	116.84	△ 5.3	0.0	99.5	49,004
24期末（2016年2月17日）	7,415	110	△ 0.4	9,923	△ 4.7	115.58	△ 1.1	0.0	99.4	46,499
25期末（2016年3月17日）	7,634	110	4.4	10,033	1.1	115.35	△ 0.2	0.0	99.5	46,355
26期末（2016年4月18日）	7,486	110	△ 0.5	9,837	△ 2.0	111.71	△ 3.2	0.0	99.5	44,023
27期末（2016年5月17日）	7,408	110	0.4	9,703	△ 1.4	111.42	△ 0.3	0.0	99.5	42,569
28期末（2016年6月17日）	6,853	110	△ 6.0	9,103	△ 6.2	108.52	△ 2.6	0.0	99.0	38,151
29期末（2016年7月19日）	7,103	110	5.3	9,668	6.2	107.81	△ 0.7	0.0	99.2	38,455
30期末（2016年8月17日）	6,966	110	△ 0.4	9,447	△ 2.3	104.65	△ 2.9	0.0	99.2	36,612
31期末（2016年9月20日）	6,936	110	1.1	9,358	△ 0.9	103.92	△ 0.7	—	98.0	34,857
32期末（2016年10月17日）	6,950	110	1.8	9,353	△ 0.1	105.22	1.3	0.0	98.7	33,435
33期末（2016年11月17日）	6,946	110	1.5	9,446	1.0	108.63	3.2	0.0	99.2	32,040
34期末（2016年12月19日）	7,289	110	6.5	10,360	9.7	114.60	5.5	0.0	99.0	31,733
35期末（2017年1月17日）	7,268	110	1.2	10,372	0.1	112.88	△ 1.5	0.0	98.3	30,996
36期末（2017年2月17日）	7,354	110	2.7	10,578	2.0	113.70	0.7	0.0	98.8	30,279
37期末（2017年3月17日）	7,383	110	1.9	10,846	2.5	113.89	0.2	0.0	98.7	29,422
38期末（2017年4月17日）	7,124	110	△ 2.0	10,225	△ 5.7	107.84	△ 5.3	0.0	98.3	27,916
39期末（2017年5月17日）	7,579	110	7.9	11,476	12.2	114.43	6.1	0.0	98.7	29,212
40期末（2017年6月19日）	7,475	110	0.1	11,229	△ 2.2	114.02	△ 0.4	0.0	98.4	29,065
41期末（2017年7月18日）	7,527	110	2.2	11,602	3.3	116.82	2.5	—	98.6	30,325
42期末（2017年8月17日）	7,238	110	△ 2.4	11,314	△ 2.5	113.93	△ 2.5	—	98.5	30,089
43期末（2017年9月19日）	7,272	110	2.0	11,530	1.9	115.98	1.8	—	98.4	31,561
44期末（2017年10月17日）	7,277	110	1.6	11,714	1.6	114.95	△ 0.9	—	98.5	33,855
45期末（2017年11月17日）	7,117	110	△ 0.7	11,431	△ 2.4	113.74	△ 1.1	—	98.2	34,235
46期末（2017年12月18日）	7,139	110	1.9	11,732	2.6	113.65	△ 0.1	—	98.4	34,727
47期末（2018年1月17日）	7,230	110	2.8	11,982	2.1	115.23	1.4	—	98.4	35,831
48期末（2018年2月19日）	6,789	110	△ 4.6	11,316	△ 5.6	114.60	△ 0.5	—	98.9	33,811
49期末（2018年3月19日）	6,513	110	△ 2.4	10,843	△ 4.2	111.10	△ 3.1	—	98.6	33,029
50期末（2018年4月17日）	6,403	110	0.0	10,694	△ 1.4	111.53	0.4	—	98.6	32,857
51期末（2018年5月17日）	6,417	110	1.9	10,868	1.6	110.22	△ 1.2	—	98.6	33,270
52期末（2018年6月18日）	6,274	75	△ 1.1	10,526	△ 3.1	110.85	0.6	—	98.9	32,695

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）スイスSMI指数（円換算）は、スイスSMI指数（スイス・フランベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第47期首：7, 139円
第52期末：6, 274円（既払分配金625円）
騰 落 率：△3. 5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドの下落が要因となり、基準価額は下落しました。ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドについては、スイス株式への投資と株価指数および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株式が下落したことやスイス・フランが対円で下落したことがマイナス要因となり、下落しました。一方、オプション取引については、株価指数オプションおよび通貨のオプションともにプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		スイスSMI指数(円換算)		スイス・フラン為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
	(期首) 2017年12月18日	7,139	—	11,732	—	113.65	—	—	98.4
第47期	12月末	7,252	1.6	11,932	1.7	115.46	1.6	—	97.8
	(期末) 2018年1月17日	7,340	2.8	11,982	2.1	115.23	1.4	—	98.4
	(期首) 2018年1月17日	7,230	—	11,982	—	115.23	—	—	98.4
第48期	1月末	7,227	△ 0.0	12,067	0.7	116.42	1.0	—	98.8
	(期末) 2018年2月19日	6,899	△ 4.6	11,316	△ 5.6	114.60	△ 0.5	—	98.9
	(期首) 2018年2月19日	6,789	—	11,316	—	114.60	—	—	98.9
第49期	2月末	6,806	0.3	11,295	△ 0.2	114.31	△ 0.3	0.0	98.4
	(期末) 2018年3月19日	6,623	△ 2.4	10,843	△ 4.2	111.10	△ 3.1	—	98.6
	(期首) 2018年3月19日	6,513	—	10,843	—	111.10	—	—	98.6
第50期	3月末	6,424	△ 1.4	10,692	△ 1.4	111.33	0.2	—	99.1
	(期末) 2018年4月17日	6,513	0.0	10,694	△ 1.4	111.53	0.4	—	98.6
	(期首) 2018年4月17日	6,403	—	10,694	—	111.53	—	—	98.6
第51期	4月末	6,461	0.9	10,731	0.3	110.54	△ 0.9	—	98.8
	(期末) 2018年5月17日	6,527	1.9	10,868	1.6	110.22	△ 1.2	—	98.6
	(期首) 2018年5月17日	6,417	—	10,868	—	110.22	—	—	98.6
第52期	5月末	6,230	△ 2.9	10,373	△ 4.6	110.05	△ 0.2	—	98.2
	(期末) 2018年6月18日	6,349	△ 1.1	10,526	△ 3.1	110.85	0.6	—	98.9

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2017. 12. 19 ～ 2018. 6. 18）

■スイス株式市況

スイス株式市場は下落しました。当作成期の前半は、米国長期金利の上昇を引き金に、2018年１月下旬から２月上旬にかけて、スイスを含めた世界各地で株式市場が急落しました。その後は、米国の保護主義的な通商政策に対する懸念や、ＥＣＢ（欧州中央銀行）による量的緩和の縮小観測、ドイツ連立政権の誕生を受けた欧州政治リスクの後退など強弱の材料が混在する中で、スイス株式市場は方向感のない展開が続きました。当作成期の後半に入り、中国の市場開放方針への期待感や欧米株式市場の上昇などを背景にスイス株式市場は上昇しましたが、５月半ば以降は、米中貿易摩擦の拡大懸念や、イタリアの政局混迷、対米ドル・対ユーロでのスイス・フラン高などを受けて再び下落基調となりました。当作成期末にかけてはやや値を戻したものの、当作成期首を下回る水準で当作成期を終えました。

■スイス株価指数オプション市況

期間１カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は上昇しました。当作成期首に９％前後でスタートしたインプライド・ボラティリティは、2018年１月中旬にかけてレンジ内での動きとなりましたが、米国長期金利の上昇を引き金とした世界的な株安の影響から１月下旬から２月上旬にかけて急上昇し、一時22%台をつけました。その後、インプライド・ボラティリティは幾分落ち着きを取り戻したものの、貿易摩擦をめぐる懸念や地政学リスクなどが意識される中で、比較的振れの大きい展開が続きました。当作成期の後半は、スイス株式市場が堅調に推移したためインプライド・ボラティリティは低下基調で推移し、５月上旬には９％台をつける局面もありました。しかしその後、米中貿易摩擦の拡大懸念などを背景にインプライド・ボラティリティは再び水準を切上げ、10%台で当作成期末を迎えました。

■為替相場

スイス・フランの対円為替レートは下落しました。当作成期首に113円台でスタートしたスイス・フラン円相場は、ドイツの大連立政権発足に向けた協議の進展や欧州の堅調な経済指標などを支えにスイス・フランが堅調に推移し、118円付近まで上昇する局面もありました。しかし2018年２月初旬以降は、世界的な株安の進行を受けてリスク回避の円買いが強まったことなどから大幅に下落し、その後３月中旬まで下落基調が継続しました。当作成期の後半は、株式市場の動向や、スイスおよび日本の金融当局による発言に加え、米中貿易摩擦問題、地政学リスク、欧州の政治リスクなどの材料が入り混じる中、スイス・フランの対円相場は方向感のない展開となり、110円台で当作成期末を迎えました。

■スイス・フラン／円為替オプション市況

期間１カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティは上昇しました。当作成期首に４％台でスタートしたインプライド・ボラティリティは、2018年１月中旬にかけて、スイス・フランの対円相場などをにらみながら上下する展開となりました。１月下旬には投資家のリスク回避姿勢の強まりを受けてインプライド・ボラティリティは急上昇し、２月に９％台をつける局面もありました。その後は幾分落ち着きを取り戻し、米中貿易摩擦問題や地政学リスクなどが意識されてスイス・フランが対円で弱含む中でも、インプライド・ボラティリティは緩やかな低下基調で推移しました。５月以降は、イタリアの政局混迷や米中貿易摩擦の動向などに左右されてインプライド・ボラティリティは振れの大きい展開となり、６％台で当作成期末を迎えました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態で、ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

米国のトランプ政権誕生後は、市場の金利予測は大きく変化しました。依然としてトランプ政権の政策プログラムについては不透明感が残っていますが、米国経済は堅調な国内消費に支えられており、米国金利は徐々にゆっくりとしたペースで上昇し、幅広い資産価格に影響するものと予想されます。欧州では、景気回復の兆しは明らかであり、ユーロ圏製造業ＰＭＩ（購買担当者景気指数）は17年ぶりの高水準となっています。一方で、英国のＥＵ（欧州連合）離脱（ブレグジット）をめぐっては、離脱に至る道筋などが不明確であることから政治的な不透明感が高まっており、景況感への影響を注視する必要があります。ＥＣＢは緩和的な金融政策を継続すると見込まれますが、対ユーロでスイス・フラン安が進んだ場合は、スイス企業の業績をサポートするものと考えられます。

輸出国であるスイスは、世界的な景気回復の恩恵を受けており、国内消費も引き続き堅調です。2018年はスイス・フラン安傾向になると予想され、スイス企業の業績に追い風となると期待されます。Ｍ＆Ａ（企業の合併・買収）については、2017年は食品・飲料セクターやヘルスケアセクター

などで増加が見られましたが、2018年もM＆Aの動きが継続すると見込まれます。今後も、企業価値が株価に十分に反映されていない銘柄などに注目しながら、投資妙味の高い銘柄の組み入れに焦点を当てていく方針です。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアムの確保をめざします。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプションの売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行ないます。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建て資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざします。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて （2017. 12. 19 ～ 2018. 6. 18）

■当ファンド

ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資しました。ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

業種構成は、当ファンドの現物株式ポートフォリオのベンチマークであるＳＰＩ（スイス・パフォーマンス指数）に対して、資本財・サービス、金融などをオーバーウエートで推移させました。個別銘柄では、SGS、Vontobel、Givaudan などをオーバーウエートで推移させた一方で、Nestle や Credit Suisse などをアンダーウエートで推移させました。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアムの確保をめざしました。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプションの売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行ないました。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建て資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざしました。

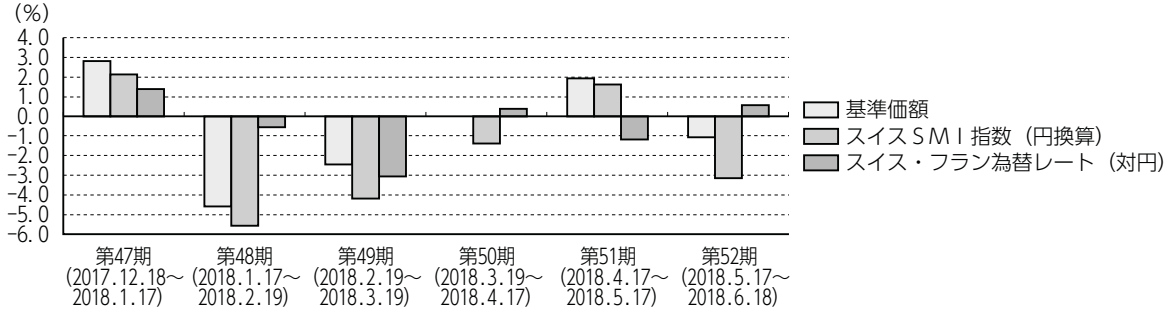
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

１万口当り分配金（税込み）は、第47期～第51期はそれぞれ110円、第52期は75円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	2017年12月19日～2018年１月17日	2018年１月18日～2018年２月19日	2018年２月20日～2018年３月19日	2018年３月20日～2018年４月17日	2018年４月18日～2018年５月17日	2018年５月18日～2018年６月18日
当期分配金（税込み）（円）	110	110	110	110	110	75
対基準価額比率（%）	1.50	1.59	1.66	1.69	1.69	1.18
当期の収益（円）	58	64	46	46	90	75
当期の収益以外（円）	51	46	63	63	19	—
翌期繰越分配対象額（円）	469	423	361	298	279	331

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a)経費控除後の配当等収益	58.56円	63.99円	46.78円	46.13円	90.79円	125.79円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c)収益調整金	403.35	405.28	406.55	361.90	298.93	280.36
(d)分配準備積立金	117.46	64.56	17.99	0.00	0.00	0.00
(e)当期分配対象額（a+b+c+d）	579.39	533.84	471.32	408.03	389.72	406.16
(f)分配金	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	75.00
(g)翌期繰越分配対象額（e−f）	469.39	423.84	361.32	298.03	279.72	331.16

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態で、ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

米国トランプ政権による政策運営にはいまだ不透明感があるものの、米国経済は旺盛な内需を支えに堅調です。ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）は緩やかながらも着実なペースで利上げを進めると予想され、米国金利の上昇が幅広い資産の価格形成に影響を与えると予想されます。欧州では、ユーロ圏の製造業ＰＭＩが高水準で推移するなど、景気回復の兆しが顕在化しています。失業率はようやく低下に転じ、今後、消費者の信頼感を支えると見込まれます。ＥＣＢは景気下支えのため、金融緩和を継続する方針を示しています。一方で、英国のＥＵ離脱をめぐる動きが企業景況感に与える影響には、引き続き注意が必要と考えます。

スイス経済は、輸出産業が世界的な景気回復の恩恵を受けているほか、国内消費も引き続き堅調です。また、為替市場ではスイス・フランの下落トレンドが継続するとみています。これは、スイス企業の業績に追い風となると期待され、2018年の業績は好調だった2017年を上回ると期待されます。また、食品・飲料やヘルスケアなどのセクターでM&Aが活発化していますが、景況感の改善に加え、企業が潤沢な資金を保有していることを考慮すると、こうした動きは今後も継続すると見

込まれます。今後も、企業価値が株価に十分に反映されていない銘柄などに注目しながら、投資妙味の高い銘柄の組み入れに焦点を当てていく方針です。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアムの確保をめざします。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプションの売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行ないます。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建て資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざします。

■**ダイワ・マネーアセット・マザーファンド**

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項　　目	第47期～第52期 (2017. 12. 19～2018. 6. 18)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	44円	0. 659%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 **期中の平均基準価額は6, 707円です。**
（投信会社）	(14)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(29)	(0. 431)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	44	0. 662	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注2）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注3）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注4）比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2017年12月19日から2018年６月18日まで）

決算期	第47期～第52期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	65,975.546	4,323,633	42,232.898	2,750,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2017年12月19日から2018年６月18日まで）

第47期～第52期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
UBS（CAY）SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND（ケイマン諸島）	28,702.1	1,910,000	66	UBS（CAY）SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND（ケイマン諸島）	42,232.898	2,750,000	65

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期間（第47期～第52期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第52期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券（ケイマン諸島）UBS（CAY）SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND	517,355.542	32,321,787	98.9

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第46期末	第52期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,996	2,996	2,997

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年６月18日現在

項目	第52期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	32,321,787	97.4
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,997	0.0
コール・ローン等、その他	850,675	2.6
投資信託財産総額	33,175,460	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2018年１月17日）、（2018年２月19日）、（2018年３月19日）、（2018年４月17日）、（2018年５月17日）、（2018年６月18日）現在

項　　目	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末
（A）資産	**36,515,989,237円**	**35,127,461,248円**	**33,682,372,094円**	**33,486,218,062円**	**33,998,565,641円**	**33,175,460,870円**
コール・ローン等	1,243,145,190	879,771,732	1,101,683,912	1,070,137,139	1,185,030,388	850,675,747
投資信託受益証券（評価額）	35,269,845,545	33,444,691,015	32,577,689,979	32,413,082,720	32,810,537,350	32,321,787,519
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	2,998,502	2,998,502	2,998,203	2,998,203	2,997,903	2,997,604
未収入金	—	799,999,999	—	—	—	—
（B）負債	**684,332,768**	**1,316,395,948**	**652,662,842**	**628,494,818**	**727,821,239**	**479,541,672**
未払金	—	400,000,000	—	—	—	—
未払収益分配金	545,167,648	547,813,783	557,828,346	564,481,034	570,306,240	390,844,759
未払解約金	100,257,781	325,864,152	60,214,413	28,806,520	120,229,040	49,297,837
未払信託報酬	38,732,311	42,354,794	34,092,699	34,513,079	36,404,947	38,304,492
その他未払費用	175,028	363,219	527,384	694,185	881,012	1,094,584
（C）純資産総額（A－B）	**35,831,656,469**	**33,811,065,300**	**33,029,709,252**	**32,857,723,244**	**33,270,744,402**	**32,695,919,198**
元本	49,560,695,294	49,801,253,074	50,711,667,846	51,316,457,684	51,846,021,843	52,112,634,580
次期繰越損益金	△ 13,729,038,825	△ 15,990,187,774	△ 17,681,958,594	△ 18,458,734,440	△ 18,575,277,441	△ 19,416,715,382
（D）受益権総口数	**49,560,695,294口**	**49,801,253,074口**	**50,711,667,846口**	**51,316,457,684口**	**51,846,021,843口**	**52,112,634,580口**
1万口当り基準価額（C／D）	**7,230円**	**6,789円**	**6,513円**	**6,403円**	**6,417円**	**6,274円**

＊第46期末における元本額は48,642,142,397円、当作成期間（第47期～第52期）中における追加設定元本額は7,402,394,241円、同解約元本額は3,931,902,058円です。
＊第52期末の計算口数当りの純資産額は6,274円です。
＊第52期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は19,416,715,382円です。

■損益の状況

第47期　自2017年12月19日　至2018年１月17日　　第49期　自2018年２月20日　至2018年３月19日　　第51期　自2018年４月18日　至2018年５月17日
第48期　自2018年１月18日　至2018年２月19日　　第50期　自2018年３月20日　至2018年４月17日　　第52期　自2018年５月18日　至2018年６月18日

項　　目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
（A）配当等収益	**301,842,437円**	**361,270,327円**	**271,486,558円**	**271,419,528円**	**497,809,923円**	**694,113,852円**
受取配当金	301,881,898	361,300,814	271,520,520	271,444,749	497,822,841	694,119,266
受取利息	50	77	35	8	10	221
支払利息	△ 39,511	△ 30,564	△ 33,997	△ 25,229	△ 12,928	△ 5,635
（B）有価証券売買損益	**712,143,284**	**△ 1,954,821,386**	**△ 1,062,056,167**	**△ 229,753,881**	**175,690,338**	**△ 1,006,281,374**
売買益	716,268,981	23,425,050	6,946,986	7,388,907	175,528,789	8,126,859
売買損	△ 4,125,697	△ 1,978,246,436	△ 1,069,003,153	△ 237,142,788	161,549	△ 1,014,408,233
（C）信託報酬等	**△ 38,907,339**	**△ 42,542,985**	**△ 34,256,864**	**△ 34,689,231**	**△ 36,613,122**	**△ 38,555,427**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**975,078,382**	**△ 1,636,094,044**	**△ 824,826,473**	**6,976,416**	**636,887,139**	**△ 350,722,949**
（E）前期繰越損益金	**△ 8,449,896,754**	**△ 7,879,536,000**	**△ 9,933,202,676**	**△ 10,978,890,922**	**△ 11,051,601,488**	**△ 10,739,127,659**
（F）追加信託差損益金	**△ 5,709,052,805**	**△ 5,926,743,947**	**△ 6,366,101,099**	**△ 6,922,338,900**	**△ 7,590,256,852**	**△ 7,936,020,015**
（配当等相当額）	（ 1,999,076,250）	（ 2,018,357,325）	（ 2,061,705,526）	（ 1,857,156,213）	（ 1,549,838,298）	（ 1,461,074,441）
（売買損益相当額）	（△ 7,708,129,055）	（△ 7,945,101,272）	（△ 8,427,806,625）	（△ 8,779,495,113）	（△ 9,140,095,150）	（△ 9,397,094,456）
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 13,183,871,177**	**△ 15,442,373,991**	**△ 17,124,130,248**	**△ 17,894,253,406**	**△ 18,004,971,201**	**△ 19,025,870,623**
（H）収益分配金	**△ 545,167,648**	**△ 547,813,783**	**△ 557,828,346**	**△ 564,481,034**	**△ 570,306,240**	**△ 390,844,759**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 13,729,038,825**	**△ 15,990,187,774**	**△ 17,681,958,594**	**△ 18,458,734,440**	**△ 18,575,277,441**	**△ 19,416,715,382**
追加信託差損益金	△ 5,709,052,805	△ 5,926,743,947	△ 6,595,445,967	△ 7,250,089,795	△ 7,689,813,996	△ 7,936,020,015
（配当等相当額）	（ 1,999,076,250）	（ 2,018,357,325）	（ 1,832,360,658）	（ 1,529,405,318）	（ 1,450,281,154）	（ 1,461,074,441）
（売買損益相当額）	（△ 7,708,129,055）	（△ 7,945,101,272）	（△ 8,427,806,625）	（△ 8,779,495,113）	（△ 9,140,095,150）	（△ 9,397,094,456）
分配準備積立金	327,268,296	92,450,429	—	—	—	264,713,640
繰越損益金	△ 8,347,254,316	△ 10,155,894,256	△ 11,086,512,627	△ 11,208,644,645	△ 10,885,463,445	△ 11,745,409,007

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は13ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
(a) 経費控除後の配当等収益	290,259,571円	318,727,199円	237,229,543円	236,730,139円	470,749,096円	655,558,399円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,999,076,250	2,018,357,325	2,061,705,526	1,857,156,213	1,549,838,298	1,461,074,441
(d) 分配準備積立金	582,176,373	321,537,013	91,253,935	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,871,512,194	2,658,621,537	2,390,189,004	2,093,886,352	2,020,587,394	2,116,632,840
(f) 分配金	545,167,648	547,813,783	557,828,346	564,481,034	570,306,240	390,844,759
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	2,326,344,546	2,110,807,754	1,832,360,658	1,529,405,318	1,450,281,154	1,725,788,081
(h) 受益権総口数	49,560,695,294口	49,801,253,074口	50,711,667,846口	51,316,457,684口	51,846,021,843口	52,112,634,580口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
	110円	110円	110円	110円	110円	75円
(単　　価)	(7,230円)	(6,789円)	(6,513円)	(6,403円)	(6,417円)	(6,274円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記(　)内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税５%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
・法人の受益者の場合、税率が異なります。
・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「ＮＩＳＡ（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアＮＩＳＡ」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「ＵＢＳ（ＣＡＹ）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2018年６月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

財政状態計算書

2017年11月30日

資産		
流動資産		
金融資産（損益通算後の評価額）	￥	34, 032, 451, 577
現金および現金同等物		621, 694, 601
担保としてブローカーが保有する現金		395, 448, 169
未収：		
売却済み証券		13, 650, 579
資産合計		35, 063, 244, 926
負債		
流動負債		
金融負債（損益通算後の評価額）		448, 588, 570
保管会社に対する支払		736, 695
未払：		
購入済み証券		14, 000, 986
運用会社報酬		163, 890, 936
管理会社報酬		16, 821, 683
保管会社報酬		5, 770, 040
専門家報酬		5, 347, 914
名義書換代理人報酬		2, 304, 428
受託会社報酬		2, 062, 112
負債（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		659, 523, 364
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	￥	34, 403, 721, 562

包括利益計算書

2017年11月30日に終了した年度

収益		
受取利息、配当収益、金融資産および負債の純実現損益・評価損益の純変動（損益通算および外国為替取引による評価額）	¥	6, 545, 476, 154
費用		
運用会社報酬		182, 749, 847
管理会社報酬		25, 606, 104
取引費用		11, 637, 553
支払利息		10, 207, 957
保管会社報酬		9, 353, 894
専門家報酬		4, 860, 803
名義書換代理人報酬		3, 435, 571
受託会社報酬		3, 045, 831
登録料		10, 019
その他費用		29, 491
費用合計		250, 937, 070
営業利益		6, 294, 539, 084
金融費用		
償却可能受益証券の保有者への分配		(5, 158, 563, 432)
分配後および税引前利益		1, 135, 975, 652
源泉徴収税		(225, 995, 268)
運用の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増加額	¥	909, 980, 384

投資明細

2017年11月30日

株数	有価証券の明細	純資産に占める割合(%)	評価額
	普通株（98.9%）		
	アイルランド（1.0%）		
	医薬品（1.0%）		
21,685	COSMO Pharmaceuticals NV	1.0	¥ 342,517,489
	アイルランド合計		342,517,489
	スイス（97.9%）		
	広告（1.7%）		
59,609	DKSH Holding AG	1.7	572,663,503
	銀行（10.2%）		
8,394	Banque Cantonale Vaudoise	2.1	720,317,615
1,177,598	UBS Group AG*	6.6	2,280,082,350
40,644	Valiant Holding AG	1.5	495,610,290
			3,496,010,255
	化学（6.6%）		
7,758	EMS-Chemie Holding AG	1.7	579,980,923
6,645	Givaudan SA	4.9	1,694,787,148
			2,274,768,071
	商業サービス（3.6%）		
4,536	SGS SA	3.6	1,257,177,822
	総合金融サービス（5.2%）		
89,306	Cembra Money Bank AG	2.6	903,252,337
262,206	GAM Holding AG	1.4	466,151,749
63,606	Vontobel Holding AG	1.2	430,933,283
			1,800,337,369
	電子部品（2.3%）		
18,536	Burkhalter Holding AG	0.7	254,121,695
27,556	Daetwyler Holding AG	1.6	555,211,600
			809,333,295
	食品（9.4%）		
338,468	Nestle SA	9.4	3,249,732,541
	ヘルスケア製品（4.5%）		
33,902	Lonza Group AG	2.9	993,316,136
31,466	Sonova Holding AG	1.6	561,915,005
			1,555,231,141
	保険（9.2%）		
23,130	Swiss Life Holding AG	2.5	870,387,802
67,369	Zurich Insurance Group AG	6.7	2,281,754,945
			3,152,142,747
	建設・採掘機械（5.5%）		
654,886	ABB, Ltd.	5.5	1,879,983,200

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

株数	有価証券の明細	純資産に占める割合(%)	評価額
	総合機械（3. 2%）		
7, 152	Inficon Holding AG	1. 4	476, 807, 926
345, 168	OC Oerlikon Corp. AG	1. 8	629, 376, 616
			1, 106, 184, 542
	金属製品（1. 4%）		
37, 552	SFS Group AG	1. 4	484, 439, 552
	医薬品（19. 6%）		
27, 132	Idorsia, Ltd.	0. 2	65, 396, 164
347, 648	Novartis AG	9. 7	3, 335, 891, 534
117, 815	Roche Holding AG	9. 7	3, 332, 440, 924
			6, 733, 728, 622
	不動産（0. 5%）		
24, 816	Investis Holding SA	0. 5	172, 371, 549
	小売（5. 8%）		
161, 927	Cie Financiere Richemont SA	4. 6	1, 563, 013, 664
78, 275	Galenica AG	1. 2	425, 947, 964
			1, 988, 961, 628
	通信（6. 6%）		
152, 316	Ascom Holding AG	1. 2	407, 918, 576
77, 602	Sunrise Communications Group AG	2. 3	788, 856, 236
17, 954	Swisscom AG	3. 1	1, 061, 912, 354
			2, 258, 687, 166
	運輸（2. 6%）		
45, 610	Kuehne + Nagel International AG	2. 6	898, 181, 085
	スイス合計		33, 689, 934, 088
	普通株合計（簿価 ¥29, 728, 571, 966）		¥ **34, 032, 451, 577**

2017年11月30日現在の売建オプション残高（純資産の－1. 3%）

明細	行使価格	満期日	契約数	プレミアム	評価額
Call - OTC Swiss Franc versus Japanese Yen	¥ 113	2017/12/15	141, 000, 000	¥ (108, 299, 715)	¥ (156, 219, 349)
Call - SMI Index Option	9, 184	2017/12/15	15, 400	(167, 769, 523)	(292, 369, 221)
				¥ (276, 069, 238)	¥ (448, 588, 570)

* 利害関係人

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第52期の決算日（2018年６月18日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を18ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2017年12月19日から2018年６月18日まで）

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	90,000		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年６月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書　第６期（決算日　2017年12月11日）

（計算期間　2016年12月10日～2017年12月11日）

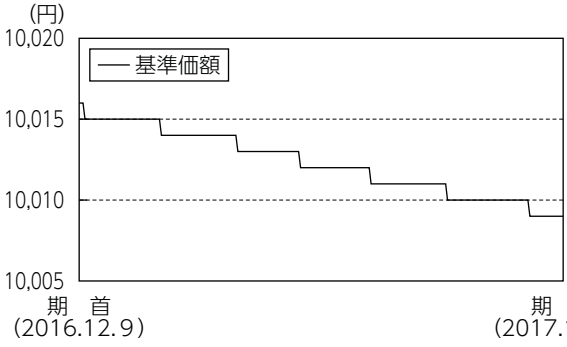
ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第６期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が１年未満、取得時においてＡ－２格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10％以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
http://www.daiwa-am.co.jp/

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額	
		騰落率
	円	%
(期首)2016年12月９日	10,016	－
12月末	10,015	△0.0
2017年１月末	10,015	△0.0
２月末	10,014	△0.0
３月末	10,014	△0.0
４月末	10,013	△0.0
５月末	10,012	△0.0
６月末	10,012	△0.0
７月末	10,011	△0.0
８月末	10,011	△0.0
９月末	10,010	△0.1
10月末	10,010	△0.1
11月末	10,009	△0.1
(期末)2017年12月11日	10,009	△0.1

年月日	公社債組入比率
	%
(期首)2016年12月９日	28.2
12月末	－
2017年１月末	31.1
２月末	25.3
３月末	－
４月末	35.3
５月末	5.1
６月末	0.6
７月末	0.1
８月末	－
９月末	－
10月末	－
11月末	－
(期末)2017年12月11日	－

(注１) 騰落率は期首比。
(注２) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注３) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,016円　期末：10,009円　騰落率：△0.1％

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（３カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■１万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	0
(その他)	(0)
合計	0

(注１) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「１万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注２) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	33,310,870	－ (36,270,000)

(注１) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注２) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注３) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	4,280,100		
669 国庫短期証券 2017/6/12	3,020,099		
657 国庫短期証券 2017/4/17	2,860,055		
659 国庫短期証券 2017/4/24	2,650,077		
652 国庫短期証券 2017/3/27	2,530,020		
642 国庫短期証券 2017/2/6	2,410,036		
644 国庫短期証券 2017/5/12	2,070,088		
651 国庫短期証券 2017/3/21	1,970,049		
660 国庫短期証券 2017/5/1	1,450,027		
638 国庫短期証券 2017/1/16	1,270,010		

(注１) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注２) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	17,415,714	100.0
投資信託財産総額	17,415,714	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項目	当期末
(A) 資産	**17,415,714,754円**
コール・ローン等	17,415,714,754
(B) 負債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**17,415,714,754**
元本	17,399,953,390
次期繰越損益金	15,761,364
(D) 受益権総口数	**17,399,953,390口**
1万口当り基準価額(C／D)	**10,009円**

＊期首における元本額は10,476,400,958円、当期中における追加設定元本額は9,625,428,641円、同解約元本額は2,701,876,209円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年２回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年２回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワＤＢモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）6,592,748円、ダイワＤＢモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）10,288,683円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジあり（年１回決算型）4,995円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジなし（年１回決算型）4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－04（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－07（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－10（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015－01（為替ヘッジあり／限定追加型）999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－　α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ32,460,107円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver３－858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver６－3,325,620,751円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver７－828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver４－3,326,673,327円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト12　Ver２－549,443,563円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11　Ver５－2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト　マネーコース808,108,471円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター（年２回決算型）為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター（年２回決算型）為替ヘッジなし100,789円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジあり（毎月分配型）1,235円、ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　為替ヘッジなし（毎月分配型）1,598円、通貨選択型　ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　日本円コース（毎月分配型）1,544円、通貨選択型　ダイワ／ＮＢ・米国債券戦略ファンド　通貨セレクトコース（毎月分配型）1,984円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト11－3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト12－679,321,043円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド（限定追加型）－シフト13－1,287,713,056円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,009円です。

■損益の状況

当期　自2016年12月10日　至2017年12月11日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△ 8,299,426円**
受取利息	△ 922,829
支払利息	△ 7,376,597
(B) 有価証券売買損益	**△ 2,491**
売買損	△ 2,491
(C) その他費用	**△ 174,287**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△ 8,476,204**
(E) 前期繰越損益金	**16,325,703**
(F) 解約差損益金	**△ 3,147,995**
(G) 追加信託差損益金	**11,059,860**
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	**15,761,364**
次期繰越損益金(H)	**15,761,364**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。